

## 校長室から



## いろいろな人が支える

2年間公開できなかったローラースケート大会が再開できました。昭和31年2月にローラースケート場が完成した際に、雪の舞う中、ローラースケートのプロのお披露目式が行われたそうです。

それから66年が経ち、脈々と受け継がれているローラースケートの行事は、途切れることなく角山っ子に確実に受け継がれています。

2日の発表会のためOBのPTA会長さんがコーチとして体育の時間に指導をしてくださいました。基礎の滑り方や新しい技を分かりやすく教えてくださいました。発表会当日には自分が滑った痛い思いを思い出しながら、お母さんたちが拍手で応援してくれました。66年前の当時、児童として初めて滑った連合町内会長西方立夫さんは、朝一番にスケート場の清掃をしてくださいました。取材に来たテレビ放送の方は、局に持ち帰って、ローラースケートをとおして得られる先輩や後輩の絆、親子の会話、地域の伝統となっているなどの本校のよさを当日のローカルニュースで紹介してくださいました。

発表会後は、普段、登下校指導や農業体験や清掃活動でお世話になっている方々と、児童が田植えと収穫をしたお米で作ったおにぎりを食べて交流会をしました。



## 外国語総仕上げの6年生

12月7日には、6年生の外国語の研究発表があり、本校職員だけでなく岡山市教委や御休小の先生も参観に来られました。外国語は中学校の英語とは違い、読む、書くことよりも話す、聞くことを重視している授業です。積み上げてきた成果をみせてもらいました。

自分の考えたオリジナルカレーライスを屋台形式で売る側、買う側になって注文のやりとりをする場面でした。

「このご飯はどこでとれたものですか」「新潟です」「全部でいくらですか」「550円です」(本当は英語でのやりとりです。)など自分の考えたカレーの絵を見せながら自分のカレーを売り込んでいきます。BGMが流れて、まるでマルシェ会場のような会話をしています。担任の伊藤先生はさらにレベルを上げます。50%の割引券や100円引のクーポン券をでたらめに買い手に渡し、それをもって値引き交渉です。

「お安くなりませんか」「いいですよ」「(クーポン券を見せて) これをもっています」

「えーと、450円になります」などの会話をしているのです。さらに、自分たちで辛さの好みを聞いてみたり、トッピングすることを頼んだりして、一つ一つ言葉に対して自分らしいリアクションがあって楽しそうに会話をしている6年生の姿に、来られた先生もびっくりです。将来、確実に英語を使ってコミュニケーションをとろうとする人になることでしょう。

